



# 長後まちだより

まちの輪・ひとの和・みどりの環

長後まちだより 23号

発行日/2023年12月10日

発行/長後地区

郷土づくり推進会議

責任者/井上 毅

事務局/長後市民センター

電話/0466-44-1622

FAX/0466-46-7034

## 令和5年度 長後地域活性化事業の報告

### 地域人材発掘・育成事業部会より

#### 第2回長後ボランティアまつりを開催しました！

地域人材発掘・育成部会では、地域の担い手の発掘と育成に取り組んでいます。2023年8月5日（土）に第2回長後ボランティアまつりを開催しました。好天に恵まれ、約500人が来場されました。

体育室では、各ボランティア団体が趣向を凝らしたブースを作り、スタンプラリーを楽しみながら地域のボランティアに触れることができました。外のブースではトランポリンやスーパーボールすくい、かき氷など、様々なイベントを行いました。また、お囃子がボランティアまつりを盛り上げてくれました。

地域の方々楽しんでてもらえたのではと思います。



### 観光・歴史資源開拓事業部会より

#### 長後歴史講演会を開催しました！

観光・歴史資源開拓部会では長後地区内の観光・歴史資源の開拓や整備、啓発を行っています。

8月19日（土）に長後地区に関連した歴史講演会を行いました。約60人の地域の方に参加いただき、懐かしい映像と解説で歴史に触れるひと時を過ごしました。

「藤沢の石屋」「長後のまつり」の2本の記録映像を上映し、郷土歴史課の学芸員の方から映像に関連した講演をしていただきました。「長後のまつり」は約30年前の長後天満宮のおまつりの様子が描かれており、懐かしく感じられたのではないかと思います。

今後も、このような企画を考えていこうと思います。



#### 長後歴史ウォーキングを行いました！

9月30日（土）、長後歴史ウォーキングを行いました。

13の方が参加され、2つのグループにわかれて、長後地区の歴史的石造物をめぐりました。お天気は少々不安でしたが、参加された方々は、身近にあった石造物を興味深げにご覧になり、街歩きを楽しまれている様子でした。

大変好評でしたので、今後も企画していきたいと思っています。



# 令和5年度 長後地区全体集会開催のお知らせ

長後地区郷土づくり推進会議では、9項目の長後地域活性化事業に取り組んでいます。この度、事業の進捗状況を皆様にご説明するための「長後地区全体集会」を開催いたします。また、藤沢市及び神奈川県が直接取り組んでいる長後地区内の事業についての説明も行われます。

長後地区郷土づくり推進会議では、皆様のご意見をお聞きして、まちづくりを進めてまいりたいと考えていますので、多くの皆様のご出席をお待ちしております。

## 令和5年度 長後地区全体集会 ～語ろう、長後の未来を!～



**2024年1月27日(土) 13:30～(13:00開場)**  
**長後市民センター 3階ホール**  
\*主催 長後地区郷土づくり推進会議

### 第1部 長後地域活性化事業について

- 地域人材発掘・育成事業
- 観光・歴史資源開拓事業
- その他取組事業

### 第2部 藤沢市及び藤沢土木事務所(神奈川県)からの取組状況について

- 高倉下長後線について
- 石川下土棚線について
- 市道長後725号線の歩道の整備について
- 下土棚遊水地工事について
- 都市マスタープラン改定について

★参加は申込制です★ 定員40名(先着順) ※オンライン視聴もできます。

期間 12月11日(月)～12月27日(水) 8:30～12:00、13:00～17:00(土日を除く)  
※定員に達した時点で受付を終了いたします。

方法 長後市民センター・地域づくり担当まで 電話またはEメールでお申込みください。

電話:0466(44)1622 Eメール:fj-chougo-c@city.fujisawa.lg.jp

※保育・手話をご希望の方は12月22日(金)までにお申し出ください。

※Eメールでお申し込みの際は、お名前・ご住所・電話番号(連絡先)のほか、手話・保育・オンライン視聴のご希望がある場合は、その旨もメール本文にご記入ください。

\*ご参加の際には、新型コロナウイルス感染症等、感染予防のご配慮をお願いいたします。

**【お問い合わせ】長後市民センター 地域づくり担当(事務局) 電話:0466(44)1622**

編集

後記

今期の長後地区郷土づくり推進会議では、ボランティアの活性化に取り組んでいる。『つながろう長後』～地域のボランティアに参加してみませんか～と題して、時事問題講演会を開催。活動団体の紹介やパネルディスカッション、チームFUJISAWA2020との連携などを話し合った。これからも様々な取り組みが必要だと思われる。(Y・K)

